



題字 渡邊剛忠

佐渡市立相川小学校

「郷土を愛し、夢と誇りをもつ教育の充実」（佐渡の自然、歴史、文化を学ぶ教育の一層の推進）

これは、佐渡市学校教育基本構想で謳われていることです。

この基本構想を受け、相川小学校では、「ふるさと相川のよさ」について、総合的な学習の時間を中心に学習をしています。また、その発展として、「世界遺産登録運動」にも協力しています。

これらの学習では、「発信と環境」をキーワードに、学習を展開しています。



伝統芸能「やわらぎ」の発表

【発信】

○金銀山に伝わる伝統芸能「やわらぎ」の発表

○調べたことのホームページやパンフレット、学習発表会での発信など

【環境】

○世界遺産登録候補地のゴミ拾い（相川クリーン作戦）

○スクールエコ運動など



相川クリーン作戦（ゴミ拾い）

これらの学習を通して、「故郷を愛する心」や「見付ける力」「追究する力」「表す力」を児童に身に付けさせることを目指しています。

今後も、課題をもって地域の歴史を追究し、学んだ成果を島内外に発信していきます。さらに、佐渡金銀山が培った歴史や文化について理解し、歴史的遺産に対する意識を高めていきます。

◆教育委員会学校教育課

☎ 23-4898

佐渡総合高校

創立100周年記念式典に向けて カウントダウンパネルを設置

佐渡総合高校が創立100周年を迎え、10月16日(土)に開催される記念式典を盛り上げようと、校舎横の県道沿いにカウントダウンパネルを設置しました。

パネルは同窓会が制作したもので、生徒から募集した100周年記念キャラクターの中から、卒業生の池田実沙紀さんが校章をモチーフにデザインしたキャラクターが描かれています。



パネルの取り付けには生徒会のメンバーが参加し、「これから精一杯100周年を盛り上げていきたい」と語っていました。

創立100周年記念事業

- ・体育祭 6月9日(水)
- ・記念式典 10月16日(土) (場所:同校第1体育館)
記念講演 浅島誠先生
- ・城塚祭(文化祭) 11月6日(土)

新潟大学人文学部と 佐渡市教育委員会が 連携協定を結びました

育などの交流をさらに促進するため連携協定を結びました。今後は民俗学・地理学・社会学などの教員や学生が佐渡島内の調査・

新潟大学人文学部と佐渡市教育委員会は、以前から多分野において相互に協力を進めていましたが、平成22年3月17日、新潟大学五十嵐キャンパスで、研究と教



新潟大学の關尾史郎・人文学部長と渡邊剛忠・佐渡市教育委員会教育長

研究を進めるほか、講演会・報告会・研究会の開催、報告書などの出版物の刊行などを通して、佐渡市民に成果を還元していきます。